

2022年 4月 12日

「大腸内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）における偶発症の臨床的特徴に関する研究」

1．研究の対象

2010年1月1日から2017年12月31日までの間に大阪急性期・総合医療センターで大腸ESDを施行した患者さん

2．研究目的・方法

「目的」ESD後の偶発症における臨床学的特徴を把握するため

「方法」対象患者の合併症に関する下記の項目の調査を行う

「研究期間」2019年2月1日～2024年12月31日

3．研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、病理検体

情報：患者基礎情報：性別、年齢、ESD施行日等
術後合併症の有無、切除検体等

4．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報をが当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 消化器内科

研究責任者：医員 前川 祐樹

電話：06-6692-1201 内線：7320